



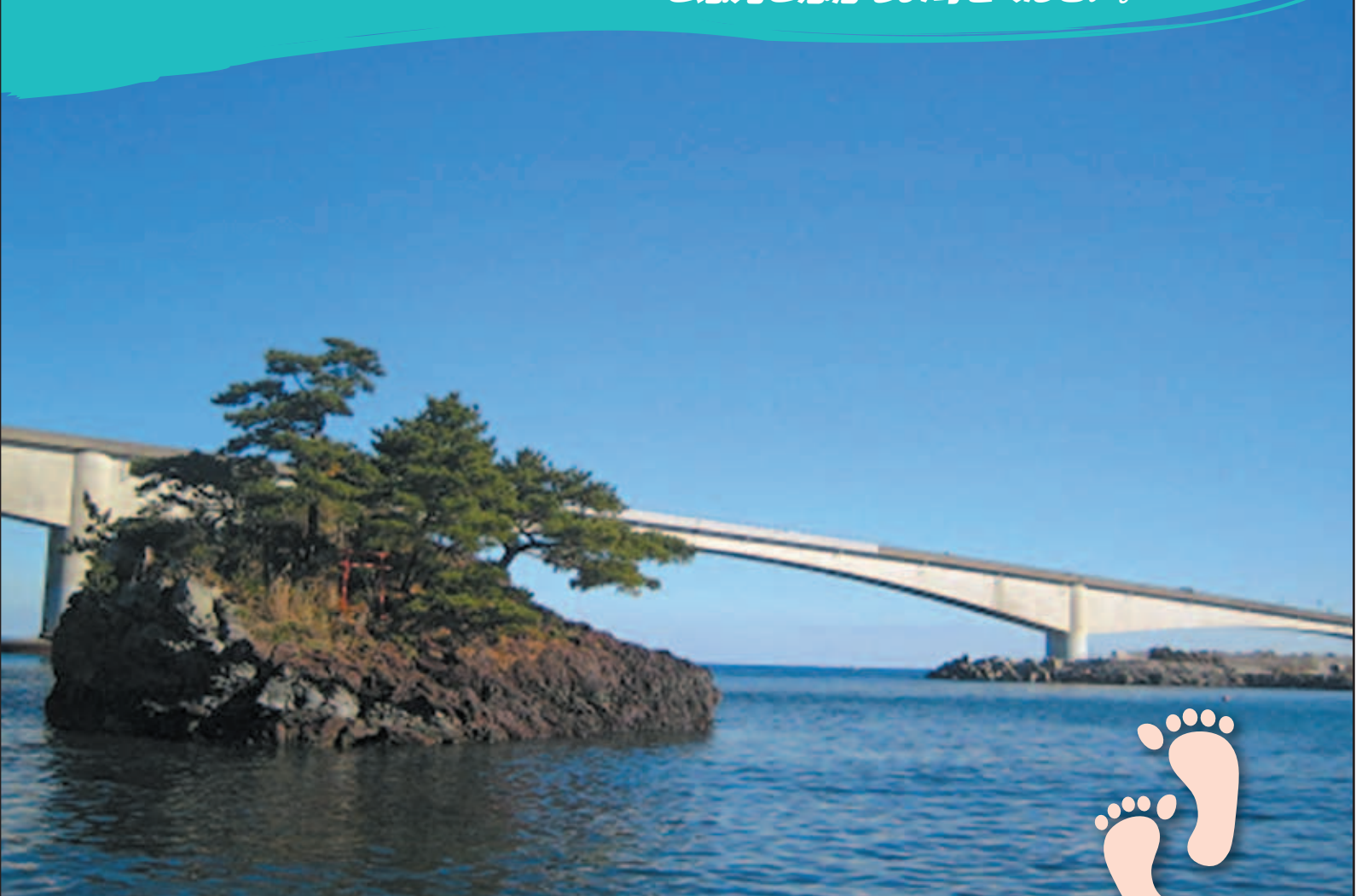
まなづる

No. 34

〒259-0202 真鶴町岩244-1 電話0465-68-1131(内線362~363)

info-center@town-manazuru.jp

ご意見ご感想をお寄せください。



神奈川県真鶴町議会

岩海岸「弁天島」

四季を通じて海水浴や磯遊び、釣客でにぎわいます。

一般質問

電気料金を節約! ...4p

はやく内科医来ないかな ...4p

協働作業で環境美化の促進を ...5p

東日本大震災に対して、真鶴町が教訓として、どう学ぶべきなのか? ...5p

住宅リフォーム助成制度導入で不況対策を! ...6p

商工観光業への助成と施策について ...6p

本会議報告 ... 2~3 p

トピック まなづる小学校に放射線測定器! ... 8 p

発行/真鶴町議会

編集/議会だより編集委員会

12月議会報告

12月16日 定例会開催

12月議会は、主に補正予算を審議しました。



同意第3号
教育委員会委員の任命について

清水絃子氏の再任を同意しました。 全員賛成



議案第46号、48号
人権擁護委員の推薦について

高橋伸夫氏の任命と、宮坂美勝氏、伊藤晴美氏の再任の推薦に同意しました。 全員賛成



議案第49号
真鶴町表彰条例の一部を改正する条例の制定について 全員賛成

村田 条例の中の記念品等については、金品が含まれているのか、金額の基準はいくらか？

管理課長 記念品等の中には金品が含まれると改正しています。なお金額は表彰条例施行規則に金額が定められており、功労者は5万

円相当、善行表彰者は、3万円相当と規定されています。

黒岩 これまでに受けた、功労表彰者の人数と内訳は？

管理課長 昨年まで123名、その内、役場職員の勤続功労者は18名となります。



議案第51号
平成23年度真鶴町一般会計補正予算第4号について 全員賛成

青木 厳 ケープ真鶴、魚座への貸付金を500万円返済しているが、魚座において経営状況は改善されているのか？

産業観光課長 11月現在の魚座の食堂では、前年比で75・4%、ケープ真鶴の食堂では99・1%まで回復しています。

青木 厳 臨時財政対策債が8,000万円減額されて、地方交付税も不透明な状況で、来年度の予算は、影響を受けないのか？

企画調整課長 臨時財政対策債の起債限度額も含め、国からの交付金など、24年度の予算においては、不透明な部分が多いため、県を通して情報収集を行っています。

青木 厳 成年後見人の事業に23万5,

000円の補正を組んでいるが、今後増えて行く相談等に町として対応して行くのか？

福祉課長 この補正は、心身に障害のある方の成年後見人に関わる2件について、家庭裁判所に申し立てる費用等を計上したものです。家族、親族に後見人になる人がいない場合もしくは、心身に障害のある方で家族が負担が出ない場合に公費で負担するものです。

青木 厳 塵芥処理費114万5,000円は湯河原町とわが町のゴミ処理で生じたダイオキシン等の費用なのか、また町のし尿処理を藤乃衛生社が行っているが、町はいくら払っているのか？

環境防災課長 ダイオキシン処理に必要な費用で、完全に燃焼させる必要から生じた費用です。内訳は燃料費の増額、焼却施設用医薬材料購入費用とダイオキシンの測定のための費用を計上したものです。し尿の処理で藤乃衛生社に委託した費用は、375万6,000円です。

青木 厳 真鶴半島冬花火事業で、30万円の増加の理由は？

産業観光課長 30万円は企業からの寄付を計上したもので、全額冬花火実行委員会に支出するものです。

青木 厳 学校管理費について公立幼、小、中学校に設置したエアコンの暖房の運用基準は決まっているのか？

教育総務課長 エアコンの関係は、幼稚園2台、小学校17台、中学校14台設置されています。利用についての基準

は、学校ごとに決めて運用しているのが現状です。

村田 農道整備事業で測量業務費用がなくなりましたが、その分を道路拡幅工事に追加したのか。拡幅工事業業に変更があったとしたなら、どれくらいの追加工事したのか？

産業観光課長 県の補助金等が半分以下に減額されたため、当初の予定区間を変更する必要がある、約650万円の予算になりました。

減額で施工できない区間に振り替え、工事区間の延長を18・5m図るものです。

村田 小学校に放射能測定機を購入することになったが、測定器の性能で検出限界の値は、いつ納入されるのか？

教育総務課長 本体は、ベラルーシ製で福島市等が採用したものと同等品です。給食測定を1月の初めから実施していきます。検出限界の値は、20ベクレルです。

特別会計



議案第54号
平成23年度下水道事業特別会計補正予算について 全員賛成

村田 公共下水道整備事業で下水道接続率が予想より達成できなかったというところか。5,000万円から10%の

迅速な動きで安心を

質疑応答

岩本 両施設の前年度に比べて、来店人数が減っている現状は。11月から来年3月まで入込数の推移で決算を考えると、どういう見通しで、経営改善を考えているのか？

産業観光課長 前年度対比で魚座の食堂売上は、11月まで、70・5%から91・1%と推移し、平均で75・4%の売上でした。

ケープ真鶴の物販は、73・3%から96・3%と推移し、平均で84・9%の売上でした。

成人式



質疑応答は、一部を掲載しています。

賛成
議案第55号
平成23年度魚座・ケープ真鶴特別会計事業補正予算について 全員

減額については、予想より接続率が低かったのか？

上下水道課長 事業費については、補助金が減額されたことによるものです。東日本大震災の被災地に補助金が回ってしまい減ったもので、接続率は達成しています。

賛成
議案第56号
平成23年度介護保険事業特別会計補正予算について 全員賛成

ケープ真鶴の食堂売上は、77・0%から118・1%と推移し、平均で99・1%の売上でした。

3月までの見込みは、売り上げ実績の平均から推測すると、厳しい状況ですが、今後の改善策としては、1月からスタッフの強化、メニュー、販売単価の見直し、営業時間の短縮、人件費の削減等に努めていきます。

村田 基金繰入金について、介護給付費繰入れは基金を取り崩すとのことだが、基金の残高はいくらか？

介護保険課長 23年度の当初で、1,096万5,000円で、9月の補正で186万9,000円積み立てをし、現在、基金は1,283万4,994円で全額を今回の補正で措置するものです。

委員会報告

議会基本条例
特別委員会

議会基本条例制定に関する特別委員会活動報告8

当委員会の活動内容についてお知らせします。

11月4日から28日にかけて4日間は、作業部会を編成し、2年間にわたって検討してきた条例文について法令文言として正しく表現できているか、専門家のアドバイスをいただきながら検討修正を加える。

12月6日（火）

検討修正を加えた条文について委員会全員で確認した。また、新たに議会報告会実施要領を検討した。

12月16日より出来上がった条文（案）についてパブリックコメントを実施し、町民の皆様のご意見を拝聴する。

委員長 岩本 克美

経済文教常任委員会

11月15日に経済文教常任委員会を開催し、9月16日、本会議において付託されました、陳情第2号「漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置の国への意見書の提出に関する陳情書について」を審査しました。

当委員会で慎重審議の結果、「採択」と決定しました。

これを受けて、11月29日の本会議に発議第3号として提出しました。

結果、全会一致で可決し、同日付で意見書（7頁に掲載）を国及び政府へ提出しました。

委員長 二見 和幸

議会を傍聴してみませんか

次の議会は
定例会3月5日（月）～16日（金）の
予定です。

真鶴地域情報センター
でも議会中継をしています。



村田知章議員



手話が言語として認められたよ!

「手話が日本国の言語として認められた件について」

2011年8月5日に公布された障害者基本法の改正により「手話」が日本国の言語のひとつとして認められた。この法律の改正は、国際条約である「障害者の権利に関する条約」に対応するために国内法を整備したものである。



真鶴町として、手話に対応した行政サービスの

電力の自由化によって、2005年5月から、50kW以上の電力を消費する利用者は、新規電力事業者から電力を購入できるようにになった。

「特定規模電気事業者(PPS)電力の導入について」

電気料金を節約!

私が福祉課長時代に、せめて自分の名前ぐらいいは手話で話せるように指導したいと考えていました。今後、不特定多数の人が集まる催し物などでは、手話通訳者などの配置をめざし、手話講座の開講などを検討して行きます。

導入を、どのように考えているのか?



しているPPSの電力が不足しても送電送電契約により、電力会社が補給供給することになっている。

PPSを導入している自治体も増えつつある。例を挙げると、立川市

では市の施設である小学校や図書館、公民館、福祉会館など計53施設でPPSと契約し、これにより18~19%の電気料金の節約となった。また、国の中央省庁のほとんどがPPSを導入している。

真鶴町としても、町の公共施設などにPPSを導入して、電気料金を節約する考えはあるか?

真鶴町としてPPSの導入に向けて、事業者と話を進めています。町内15施設がPPSの対象となります。

一般質問

青木 厳議員



はやく内科医 来ないかなー

「わが町の地域医療、医師体制について」

9月議会定例会で町長は、内科医の診療再開ができるよう努力し、3階の入院施設の再開に向けて、「おおり医院」か「地域医療振興協会」のどちらかが、わが町に最適であるか検討していくと約束した。

「地域医療振興協会」は、10月から火曜に医師の派遣を開始しているが、「おおり医院」は、いまだに10月からの委託期間診療が実施されていない状況の経過は?

2つの医療機関から、経営診断等の提出を待つて慎重に検討し、町民のかかりつけ医としての外来診療再開を進めて行きたいと考えております。3階の再開利用については、入院施設であることが相応しいと思っています。

とともに私が求めているのは、2つの医療機関とは別に、総合内科の医療機関です。お知り合いの医師がいましたら、臨時的に雇って採用を考えていきたいとも思っております。

24年の3月までには、常勤の内科医の外来診療が再開できる見通しが立てられるか?

出来ることならば、内科医が町に住み、かかりつけ医として医療のできる内科医を探す努力をしていきたいと思っています。



孫の代までふるさとを
「わが町のふるさと教育について」

ふるさと教育は、わが町の良さを生かした教育をすべての分野で推進し、ふるさとへの誇りと愛する心をはぐくみます。この「ふるさと教育」とは?

「ふるさと教育」とは、真鶴の恵まれた自然や伝統ある歴史を活かし、地域の人のかわり合いを大切にしながらかつ活動や体験を通して、真鶴を愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てることや将来の町づくりの担い手を育てることを目標とした教育です。町内の幼稚園・小学校・中学校で取り組まれています。

小田急時代の賑わいを
「ケープ真鶴の経営改善について」

ケープ真鶴の19年度から22年度までの、決算を評価しますと、収支が年々悪化していることが気になります。今後、収支悪化がこのままで推移すると、2・3年後には経営が立ちいなくなる可能性があります。わが町一番の景勝地にあるケープ真鶴の経営改善を具体的に、どのように考えているのか?

町営の施設が、経営状況が悪いという風評被害で、町内の業者もすべて悪いという評価になります。議会に対して決算報告の中で説明し、その中で改善計画を進めていますので理解ください。

板垣由美子議員



協働作業で環境美化の促進を

「アダプト・プログラム制度の導入について」

町民と行政による協働の新たな取り組みとしてアダプト・プログラム制度がある。この制度は、地域住民と行政が合意書を取り交わし、公共物の美化活動を行うもので、県内でも多くの自治体が導入している。活動により町の美化と地域を大切にすることが導かれると思うが導入は？

既にボランティアの方々などにより清掃活動が行われており、町は必要に応じた支援をしています。制度は導入されているに等しい状況にあると言えます。

防災に女子力を

「女性の視点からの防災対策について」

1、真鶴町防災会議あるいは防災担当部局への女性の登用について

東日本大震災では、災害時における女性の視点の大切さが浮き彫りになった。生活者の視点で防災対策に普段から反映するため防災担当部局への女性の登用は？

有事の際は性別に関係なく職員は活動しますが、女性の視点から防災対策に反映することが必要と考えます。意見を反映できる仕組み作りを検討したいと思っています。

災害が発災した場合多くの被災者が避難所に殺到することが予想される。関係者への事前訓練としての避難所運営ゲーム俗称ハグの体験実施は？

毎年9月に総合防災訓練を実施しています。

す。実際の体験訓練の取り組みを重視し、継続して実施して参りたいと考えています。

ごみ出しが困難な世帯は「ごみ出し支援事業について」

未来を築くビジョン基本方針2では、みんなで支えあい分かち合うまちづくりを進めるとあり、実施方針2に高齢者生活支援事業としてごみ出し支援事業がある。今後どのように展開していくのか？

第4次総合計画の中で新規に位置付けています。継続的な支援が受けられる方法を検討して、体制作り・事業実施へと結びつけて行きたいと考えています。



一般質問

岡ノ谷佳子議員



東日本大震災に対して、真鶴町が教訓として、どう学ぶべきなのか？

- ① 想定をどう考えているのか
- ② その対策については
- ③ 住民への津波防災への啓蒙方法について
- ④ 消防団員の安全確保と活動時の情報伝達について
- ⑤ 津波の避難訓練の実施について

国の中央防災会議の専門調査では「あらゆる可能性を考慮に入れた最大級の地震と津波を想定すべき」としているが、町はどのように考えているのか。

昨年の商工祭りや、町民と町長のほっとらいんで、町長より、何度か耳にした「避難タワー」を真鶴港湾の展望公園に誘致したい旨を県に要望さ

れているが、津波が来る方向には、いかがなものか。

その高さの点で建築確認の必要があると思うが、まちづくり条例との整合性は。

次に2点提案をする。阪神大震災が残した課題に①初動態勢の遅れ②交通網の寸断等により職員参集状況が悪く対策本部の設置が遅れた点である。

そこで「提案①」に気象衛星と連動し、自動的にポケベルが鳴る緊急連絡システムの導入。「提案②」職員の抜き打ち参集訓練の実施等を行う。

次に東日本大震災で、消防団員が254人も死亡・行方不明となっており、団員が無線手段を持っていないことが事実である。総務省消防庁は消防団員が使う携帯型無線機等の購入費を自治体に補助する制度を新設した。

同庁は「消防団員が一人一台の体制を整えたい」としているが、町としてどう考えているか。

真鶴町は、津波避難訓練の実施と避難経路や避難場所の見直し等する必

要があると思うが。最後に、同じ過ちを繰り返したとしたならば、それは「自然災害」といわず「人災」というべきであろう。

県の真鶴町の8・8メートルの津波の想定をあまくみないで、常日頃からあらゆる想定を考え我が身は自分で守ることであり、情報の住民への伝達としてジェイアラートを整備しており、新たなハザードマップを作成し全戸配布に努めます。避難タワーは一瞬に争う時に、東西と正面に必要なのです。展望公園は避難所として置くのではなく、真鶴町の一つの観光事業として設けるということです。津波防災意識は小さい頃から防災教育をしていく必要があり、啓蒙に努めます。消防団員は、自分自身の身の安全を先ず確保していただき、団員のトランシーバーは決して悪い話だけでは無いので研究させて下さい。津波避難訓練は大変重要であり本町の地形を考えた訓練の実施をしていきます。

黒岩宏次議員



住宅リフォーム助成制度導入で不況対策を!

「不況対策として住宅リフォーム助成について」

❓ 昨年12月議会において不況対策と中小企業への支援で大きな経済効果が生まれたことから大変喜ばれている住宅リフォーム制度の導入の提案をしてきた。あれから約一年間で助成金交付の市町村が全国の396の自治体に広がっている。県内では5市4町1村の自治体で実施している。

一つ目の質問として、この制度の経済波及効果など住民の反応を調査・研究されてきたかを伺う。

二つ目の質問として、景気が悪化し仕事がない町内業者の実態を把握しているか? 経済の活性化を願う業者と住民の住環境向上へ手を貸す補助制度化は必要だと考えるが見解を求める。



町長 前は身の丈も含めながら、多くの方々の意見を参考にしながら進めていきたいと答えました。しかし、実施するとは言っていない。その後、東日本大震災が発生し、地震や津波により木造の建物、コンクリートの建物と、甚大な被害状況が報道され確かに地震に対する備えが必要であることが教訓とされまし

た。住宅改修工事の補助は、耐震診断が実施されていない状態で補助制度は活用出来ません。住宅リフォーム制度の導入の必要性は重々承知していますが、今後の課題として、棚にあげることなく検討します。

釣り堀・水族館跡地の整備計画の進捗状況は?

「釣り堀跡地の撤去及び整備計画の進捗状況について」

❓ 23年度真鶴町施政方針で「撤去した跡地の整備を県に働きかけている」と述べているが釣り堀跡地は「真鶴半島利用計画」で海のレジャー拠点として検討すると計画決定されて五力年が過ぎた。旧亀ヶ崎水族館の撤去は完了したが、跡地を観光拠点として整備する基本計画が全く進んでいない。その一方で、そのための進入道路の建設工事のみが先行し、ほぼ完了した。この道路改良工事には、補助金も含め4560万円が投入されている。このようにまったく進んでいない理由と問題点は一体何か説明を求める。また、その見通しは?



町長 釣り堀跡地の土地は神奈川県が所有しており、県は海岸にある不法占拠されている工作物の所有者に撤去を要求し交渉していると報告を受けていますが、応じてくれないので今後も引き続き折衝して行くとのこと。また、県が代執行することも海岸法に基づくものは難しい面があるとのこと。町は要望するだけでなく、海岸の活用を積極的に言う姿勢を示し重ねて撤去を求めています。

内袋観音周辺の整備については、崖の崩落危険個所の安全対策を最優先に考え、自然海岸に戻し、子どもたちなどに楽しんでいただけるよう整備計画を進めることにしています。

一般質問

青木 繁議員



商工観光業への助成と施策について

「元気事業の一つである流鏝馬イベントに費用対効果の評価と今後の進め方について」

❓ 真鶴町商工会の調査研究事業として「源頼朝プロジェクト」がおこなわれているが、その事業内容の一つに岩海岸への頼朝舟出モニュメント製作設置と、しとどの窟の整備が計画されており次年度以降、流鏝馬イベントとリンクして、製作費等の助成を予算化するのが可能なのか、また町独自の記念碑等の設置計画があるのか?

町長 元気事業の一つである「頼朝まつり」については、開催に伴う町内への様々な経済効果があつたと評価しています。また、例えば歴史を振り返ることがあると教育にもつながっていくことなど、お金には換えられないものが、参加された方の心の中に残ったのではないかと考えています。

源頼朝舟出に関連する各種整備については、商工会で進めている源頼朝旗挙げを題材としたプロジェクトについて、今後前向きに商工会と調整を図って参ります。

❓ 現行の流鏝馬を主体としたイベントから、もう一步進めた形として源頼朝ゆかりの市町と連携し、歴史的価値の見直しと、新たな観光施策の観点からも、頼朝サミットの開催を提案するが町長の考えは。

また、モニュメントの設置等について、具体的な考えは?

町長 源頼朝サミットについては今後調査研究し開催に向けて検討していきたいと思っています。

モニュメントについては設置場所、材質等を、慎重に検討した上で進めていきたい。

私見としては、舟出の記念碑は必要であると考えています。

有害鳥獣対策について

❓ 平成23年度猿被害対策モデル事業が、12月1日付けで、県自然環境保全課長名にて通知されたが、現在までの調査結果及び平成24年3月15日までの期間内での対応策と、他の害獣被害状況は?

町長 当町の被害状況については、サルやイノシシによる被害等が年に数件寄せられる程度で、報告のあつたもののしか把握しておりません。

町では、職員による追い払いや野猿対策協議会への補助金の交付をしており、協議会を通じての追い払い用花火の配布やネットの貸出をしています。

今後も農協や猟友会とも連携を図りながら、有害鳥獣対策を実施していきますので、被害がありませんでしたら町もしくは農協に連絡をいただけるよう議員の皆様からも周知をお願いします。

漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置に関する意見書

昨今の漁業をとりまく情勢は、コストに占める燃油費のウェイトが極めて大きい漁業にとって、燃油価格の高騰に加え、構造的な魚価の低迷の中、収入面においても厳しい状況であり、漁業経営は深刻な状態に陥っている。

真鶴町を含む沿岸漁業地域においては、零細漁業者も多く、軽油引取税の免税措置が廃止されることは、漁業経営をさらに圧迫し、廃業にさえ追い込まれかねない。

国民に対し、国産水産物の安定供給を続けるためには、漁業者の経営安定が必要である。

食料産業の存続のためには、漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置は不可欠な措置である。

よって、国及び政府に対し今後においても漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置を継続することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年11月29日提出

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・農林水産大臣・総務大臣 殿

神奈川県真鶴町議会

平成23年 11月臨時会 審議結果

会期(2011年11月29日)

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	村田知章	高田昇	海野弘幸	青木繁	岩本克美	神野秀子	二見和幸	青木 厳	草柳 昭	岡ノ谷佳子	黒岩 宏次
議案第45号	真鶴町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	11	10	1	可	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	○	○	○	○	×
陳情第2号	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税処置の国への意見書の提出に関する陳情書について	11	11	0	採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税処置に関する意見書の提出について	11	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成23年 12月定例会 審議結果

会期(2011年12月16日)

議案番号	議 案	採決者数	賛成	反対	議決結果	板垣由美子	村田知章	高田昇	海野弘幸	青木繁	岩本克美	神野秀子	二見和幸	青木 厳	草柳 昭	岡ノ谷佳子	黒岩 宏次
同意第3号	教育委員会委員の任命について	11	11	0	同	○	○	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	○	○	○	○	○
議案第46号	人権擁護委員の推薦について	11	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	人権擁護委員の推薦について	11	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	人権擁護委員の推薦について	11	11	0	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	真鶴町表彰条例の一部を改正する条例の制定について	11	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	真鶴町特別職の職員中非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	11	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成23年度真鶴町一般会計補正予算(第4号)について	11	11	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第53号	平成23年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第54号	平成23年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第55号	平成23年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算(第3号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第56号	平成23年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
議案第57号	平成23年度真鶴町水道事業会計補正予算(第1号)について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席(遅刻・早退を含む) 除=除斥

議決結果 可=可決 否=否決 承=承認 認=認定 同=同意 報=報告 採=採択 趣=趣旨採択 不=不採択

平成23年12月13日

「ひまわりの家」完成



地域作業所「ひまわりの家」の改修が終わり、素敵な作業所になりました。



まなづる小学校に放射線測定器!

給食の安全を確保するために、小学校に放射線測定器が設置されました。

一日5品目程度を品目ごとに測定し、1キログラム当たり40ベクレルを超える食材は使用しません。

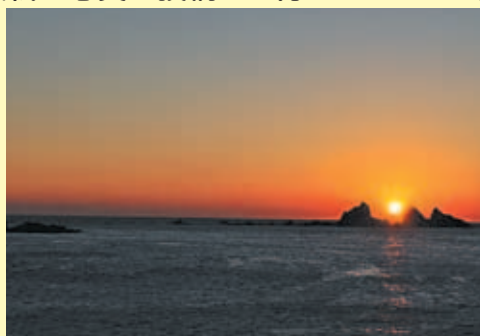
これにより、国の暫定基準値500ベクレルを大きく下回る安全を確保することができます。

測定結果は、まなづる小学校のホームページの「給食室から」で確認できます。

<http://www.town-manazuru.jp/manasho/>



表紙の写真の投稿をお待ちしております。



三ツ石からの荘厳な日の出

議会だより33号のお詫びと訂正
前号33号の委員会の構成に間違いがありましたので訂正と追加を致します。
●上下水道対策特別委員会委員
(誤)岡ノ谷佳子 ↓ (正)黒岩宏次
●監査委員
岡ノ谷佳子



真鶴半島
駅伝競走大会

編集
後記

議会だより34号が発行されました。刷新されて8号目になります。前号から編集委員の構成が代わりまし



生の議会の声を届けたいという思いと共に一層の説明責任を果たし、町民の皆様に的確な情報が発信できる議会だよりを目指して努力して参ります。

今年の十二支は辰です。昇り龍にちなみ、皆様と共に上昇の1年として参りたいと思います。ご愛読の程をよろしくお願い申し上げます。

議会だより編集委員会

副委員長 板垣 由美子

議会だより編集委員会

委員長 村田 知章
副委員長 板垣 由美子
委員 高田 克昇
委員 岩本 幸美
委員 二見 和幸
委員 青木 厳